

L P ガス C P 情報(2013年6月積み)

1. 6月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 745^{ドル} (前月比 +10^{ドル})
 ブタン 770^{ドル} (前月比 -5^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、需要期が明け、祝日等もあり閑散としていた場面もあって、需給にタイト感はなかった。産ガス国のスポット供給はカタール、クウェート、イラン等に余裕があったが、トレーダー勢の引き合いで一時高騰する場面もあった。CP先物はバックワーデーション(期先安)となっているが、期近6月限と期先8月限の格差は15^{ドル}に縮小、一方、ブタンは、ナフサが850~870^{ドル}で推移、石化向け需要は盛り上がり、ブタン供給にも余裕があることからプロパン、ブタン格差が30^{ドル}に縮小した。フレート市況は北米からの輸出増とサウジアクセプタンスの集中で第3週に急騰した。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン1.8ポイント上昇、ブタン横ばい、前年同月比ではプロパン13、ブタン7ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	52	55	70	69	62
CP先物指標:P	738	720	737	732	732
CP先物指標:B	778	765	772	762	769

② 原油市況等

原油市況をみると、5月のWTIは91^{ドル}、ドバイ97^{ドル}台でスタートしたが、米国経済指標の改善とイスラエルによるシリア空爆及びシリアの報復示唆による中東情勢の悪化による地政学リスクから96^{ドル}台に急騰した。その後は中国の経済成長鈍化、EU圏の景気先行懸念、米国の原油生産、在庫の高水準もあり一進一退を繰り返し、94~96^{ドル}のレンジで推移した。一方、ブレント安からWTIとの価格格差は8^{ドル}どころまで縮小した。株高が続き、リスク許容度が高まり投機資金が流入、WTIの建玉(総取組高)は12日に174万枚の高水準で、大口投機玉ネット買い越しは21日で26.9万枚まで膨らんだ。

○5月積みアラビアンライト(5月1~27日まで)は102.33^{ドル}(前月比-0.66^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン839.02^{ドル/トン} ブタン827.52^{ドル/トン}
 AL比 プロパン88.79% ブタン93.05%

2. 2013年6~7月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	103.30	76,959	79,541	+3,300	+1,900
26~25日②	101.73	75,300	78,600	+500	-300
1~31日③	102.09	75,400	78,900	-800	-1,600
1~31日④	102.09	75,500	78,900	+200	-600

*TTS平均は①が5月16日~5月29日まで、②は4月26日~5月25日

③、④は5月1~29日、①は7月仕切への影響、②~④は6月仕切適用。

③は前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。②、④は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。